

# 週刊 市議会報告

08年2月4日 第1029号  
【発行】日本共産党  
浦安市議団  
市役所控え室  
350-1243



元木美奈子  
入船4-37-14  
355-8526  
minamonton@jcom.home.ne.jp



井原めぐみ  
東野2-8-13  
353-4730  
i\_megumi@d8.dion.ne.jp



美勢 麻里  
北栄2-3-16-203  
354-9269  
m5mise@jcom.home.ne.jp



## 保育園待機児214名 公的責任で待機児解消を！

「4月から産休明けなのに保育園に入れるか心配」「家計が苦しく働きたいが保育園に入園できない」「働くお母さんの切実な要望である保育園待機児解消について、認証保育園も考えられていることが12月議会の一般質問で明らかになりました。

### 新たな保育計画で認証保育園を導入

「祈る思いで公立保育園の申し込みをした」「いつでも入園できる体制にして欲しい市民の方から強い要望のある公立保育園の待機児は、07年12月1日現在214名です。

大塚久美子子ども部長は「入園希望者は今後も増えていくものと見込んでいる」として認可保育園の建設や認証保育園の導入を取り入れることを含めたあらたな保育計画を策定していることを明らかにした。

### 保育が利潤の対象に

認証保育園は多様化する保育ニーズに対応するとして、各自治体が独自の基準を設定し民間企業の保育園参入を認証する制度です。2001年の児童福祉法改正

で、「改正」前は「公立または社会福祉法人を原則」としてきた保育所設置を「その他の多様な事業者」を活用して設置・運営を促進すると変えられました。

「改正」法は民間企業の参入促進を自治体におしつけるものとして、日本共産党は「保育の市場化を進めるもので、児童はよい環境の中で育てられる」とした児童憲章や児童権利宣言の精神に反する」と指摘し、「改正」法に反対しました。

### あまりにもひどい実態

当局が導入しようとしている民間企業経営の「認証保育園」になるとどんな保育になるのか、市川市で昨年導入されたじゃんぐる保育園開設時の実態をご紹介します。

施設はマンションの一室で、部屋の仕切りは子どもが押せば倒れてしまうようなパーティションで区切られているだけ。調理室は一般家庭並みの広さしかなく、哺乳瓶の消毒施設もありませんでした。食器は百円ショップで購入、玄関の靴箱の上が配膳台がわりとされるありさま。

保育士の拘束時間は9時間半で休憩もまともに取れず、サービス残業は当たり前となっています。東京でも、保育料は高いにもかかわらず、職員はパートや契約社員が多いと、施設が狭く、年間指導計画が作られていなかったり、給食担当職員の検便が適切に行われていないなどが判明し、都の指導が入った例もあります。

入所できないために納得できない保育環境であっても「預かってもらえるだけで助かる」として、子どもを託す父母の気持ちの逆手に取るような、自治体の責任の後退はゆるされません。

日本共産党は保育の質を公的責任で最優先に確保することを求め、保育を営利企業にゆだねる流れを変えるためにがんばります。

### 市民斎場の看板が設置されました

「斎場への標識が分かりづらい」「迷ってしまう」と市民斎場への道順が良くわからないという市民の方から日本共産党へ改善の要望があり、案内標識の実態を市民斎場の所長と確認しました。

案内標識は、青地に白文字・白地に青文字と二種類あるため識別しづらいことや、市民斎場の建物がシンプルで、表記を見過ごし通り過ぎてしまいそうになることがわかり、日本共産党は市当局に改善を求めています。



このたびクリーンセンターバス停前近くと斎場駐車場に設置された看板は大きく、青地に白文字で曇りの日や夜でも識別でき、この先200M左と記載され「もう少し」という安心感があります。